



2021年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社ゼネラル・オイスター
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 吉田 秀則
(コード番号：3224 東証マザーズ)

問 合 せ 先 経営管理本部 芝田 茂樹
執行役員 本部長

(TEL. 03-6667-6606)

特別利益及び特別損失（減損損失）の計上、2021年3月期通期業績予想と

実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期累計期間の決算について、特別利益及び特別損失（減損損失）を計上いたしますので、下記の通りお知らせします。また、2021年3月期通期業績予想に関しまして、実績との間に差異が生じたので、その修正を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生及びその内容

(1) 助成金収入

当社は、2021年3月期第4四半期連結会計期間において、緊急事態宣言等による店舗等施設の臨時休業や時短営業に伴う協力金43百万円及びその他雇用調整助成金等6百万円を補助金収入として、合計49百万円を特別利益に計上しました。この結果、2021年3月期累計の助成金収入による特別利益は114百万円となりました。

2. 特別損失（減損損失）の発生及びその内容

(1) 減損損失

当社の保有する固定資産（加工工場関連資産を主とする共用資産等）について、2021年3月期第4四半期 会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を保守的に見直した結果、減損損失として410百万円を計上致しました。

今般、減損の対象となった岩手県大槌町の加工工場（以下「当社加工工場」といいます）につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、店舗事業の売上減少により、稼働を大幅に抑制しておりました。

今後は、当社加工工場において、新たに受託事業を開始することで※（以下「本受託業務」といいます）、稼働状況等を改善し、収益力が高まると見込んでおりますが、厳しい経営環境を踏まえ、今般の減損テストの当該将来キャッシュフローについては、保守的な見積もりとしております。

また、本受託業務は、長期安定的な収益が見込めるものであり、取引を更に拡大し、当初投資額の早期回収に向けて取り組んでいきます。

※詳細は、本日の適時開示「新たな事業に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 業績予想との差異について

(1) 2021年3月期通期業績予想と実績値との差異(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	2,319	△349	△355	△223	△76.10
当期実績値 (B)	2,338	△359	△367	△641	△218.59
増減額 (B)-(A)	19	△10	△12	△418	△142.49
増減率 (%)	+0.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	3,579	△146	△157	△106	△38.50

(2) 差異が生じた理由

当社加工工場の減損損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想を大幅に下回ることとなりました。その結果、純資産が116百万円の債務超過となりました。2021年6月末までに、「債務超過の解消に向けた取り組み」を開示する予定です。

以上